
満月の日に

蒼空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

満月の日に

【Nコード】

N 6 7 2 3 P

【作者名】

蒼空

【あらすじ】

私は幼いころイジメを受けたの。

私にはパパがいなかった。ママが一人で育ててくれたの。

そしてそのママも死んだわ。

そしたらね、仲良かった子みんなが私を無視するようになったの。

その親も。というか親が無視するようにしつめたんだけどね。

あと、先生も無視してたな。

私は毎日泣いたわ。そしたらある日誰かが言ったの。

『今日は満月だ。こんな日に泣くんじゃないぞ』

12月19日(前書き)

初めて書きます!!!

おかしい文章があつたらお知らせください!!

でわでわ、どうぞ!!

12月19日

確かあの日は12月19日だった。

日曜日だけど塾があるということで、朝からだるかった。ふと時計を見ると8時だった。

普段はもっと早いのにと思いながら朝食を食べた。

いつもとはチョツと違った朝を向かえたその夜事件が起きたのをニュースで聞いた。

場所は神戸に住んでいる私にとって遠いような近い場所だった。

そこは岡山県だった。

ある、ため池で人が浮いているのを近くを通りかかった男性（47）が見つけた。とかアナウンサーが言ってたけど？？

と、アナウンサーっぽい口調で弟の友也が言った。

へー、と私が一言返すと

「ねえ！！死因はなんだと思う？」

そう聞いてきた。

「人の死因を嬉しそうに聞かないの。」

そんなの水死でしょ？？ため池で見つかったんだから溺れて死んだんじゃないの？？」

当たり前でしょ、という感じの口調で言った。

「残念！心臓を一発拳銃で撃たれたんだって」

勝ち誇るように言った友也は、眠そうに目をこすり

「おやすみ」と言って部屋に戻った。

心臓に一発、か。

テレビをつけるとちょうどそのニュースが流れていた。

『犯人はいまだ逃走中のもようです』

と、アナウンサーは言って次の報道にうつった。
ちょうど終わってしまった。

まあ、いい。

どうせ、事件の真相は私しか知らないんだもんね。
なんでかって??

犯人はこの私だから。

12月19日(後書き)

終わった・・・。

なんかいいんですかね??

こんな感じで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6723p/>

満月の日に

2010年12月30日18時17分発行